

漢方薬局製剤実習講座・参加者募集

《茶剤・散剤を実際につくってみませんか》

日 時

2022年7月17日(第3日曜日)
12:30~16:00 (予定)

場 所

東京薬科大学 八王子キャンパス
〈東京都八王子市堀之内1432-1〉

内 容

オリエンテーション
【茶剤】葛根湯
【散剤】解熱鎮痛剤8号A

申込方法

申込締切：6月30日(木)厳守
年間受講生は、6/19に総合講座で出欠確認致します。
(Google フォーム用紙を配付)
6/19にご欠席の場合は、6/19以降に当協会ホームページより
Google フォームにてお申し込みください。
会員、一般の方は、必ず事前に事務局までメールでお申込み
下さい。ご参加の可否を返信させていただきます。
*会員・一般 申込受付期間：6/20~6/30
実習当日の受付は致しておりません。

参加費

年間受講生(材料費)・・・・・・・・・・1,000円
日本漢方協会会員・・・・・・・・・・10,000円
一般・・・・・・・・・・15,000円
薬学生(学生証をご呈示ください)・・7,500円

【お問合せ先】 一般社団法人日本漢方協会 事務局
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-17-19
PAZ 両国 6階
TEL/FAX : 03-6659-9980
E-MAIL : j.kampo@jeans.ocn.ne.jp

予告

漢方薬局製剤実習

テーマ 茶剤：葛根湯
散剤：解熱鎮痛剤8号A
(アセトアミノフェン+生薬末)

★薬局で相談を受けた時、先ず最初に何を考えますか？

相談者は何を求めているのか、それを理解し求めに添うことが重要です。

昨年から行われたコロナワクチン接種、その副反応対策として、多くの人々がアセトアミノフェンを求めに薬局を訪れました。しかし、当時アセトアミノフェン製剤は品切れ状態で、人々の求めに添うことができなかった苦い経験をされたのではないのでしょうか。

薬局製剤にはアセトアミノフェン製剤があります。一般用医薬品のアセトアミノフェン製剤の流通が途絶えても、薬局で製造し人々に提供できます。^{注1}

そこで、今回「解熱鎮痛剤8号A」を製造します。「解熱鎮痛剤8号A」はアセトアミノフェンにカンゾウ末、シャクヤク末を配合し、緊張性の痛みにより効果があり、加えて胃腸にも優しい製剤です。まさしく現在日本の医療の中で行われている西洋薬と漢方薬の合体により、効果増強と副作用防止が計れる生薬配合製剤ともいえます。薬局製剤には、このような生薬末配合の西洋薬が多数あります。是非この機会に製造してみましょう。

注1：薬局製剤を製造販売するには、薬局の開設許可の他に別途許可、申請が必要です。

★漢方薬、煎じてみませんか？

薬局製剤茶剤には、煎じ液そのものの確かな効果に加えて、煎じるという行為から治療意識の向上と鼻からの吸入効果も期待できます。適切な煎じ方を知っておく必要があります。

そこで日本漢方協会では、製剤実習に加えて煎じの実習も行います。

今回は葛根湯をテーマに、一度に全ての生薬を煎じる方法と古典にある麻黄と葛根を先に煎じる方法の2通りで煎じて、その違いを確認します。とても興味深い実習となるでしょう。

多数の参加をお待ちしております。

実習担当：八木多佳子